

## プミポン・アドゥンヤデート・タイ前国王崩御後のバンコク



昨年 10 月、プミポン・アドゥンヤデート・タイ前国王が崩御された翌日から、ショッピングモール等のアパレルショップでは色が消え黒一色となりました。

岡山県タイビジネスサポートデスクのあるバンコク市・シーロムエリアでも、ほとんどの人は黒い服を着用し、白いシャツの方は黒いリボンの喪章を付け喪に服していました。

電車やバスの中では黒以外の色のシャツ等を着ている人は睨まれたこともあったようです。前国王への弔問も、ご遺体が安置されている王宮にて行われ、バンコクだけでなく地方からもたくさんの国民が弔問に訪れ、弔問者は開始後約 1 か月で 100 万人を超えました。バンコクではショッピングモール等、地方では県庁等で弔問記帳が行われ、記帳者は 1,000 万人を超えました。また、政府は弔問者の為に国鉄運賃を無料としました。

例年、花火でのカウントダウンで盛り上がる年末年始も、服喪中のため中止されたイベントが多く、開催された場合でも、ろうそくでカウントダウンするなど、しめやかに行われました。しかしながら、年末年始の帰省客・旅行者は例年以上の人数となり、LCC が発着するドンムアン空港では年末年始の利用客が 70 万人と前年を上回り、発着の航空機は 5,000 機を超え過去最高を記録しました。

本年 1 月 20 日に前国王の 100 日法要が営まれ、一般的には服喪明けとされている現在では、だんだんと街の中が明るくなってきたものの、アクセサリ、ピアスなどの喪章を付

けている方も多く見受けられます。なお、官公庁・学校等は今年10月まで服喪期間が継続しています。

明るくなったのは街の中だけではありません。タイのテレビ放送は崩御後コマーシャルを自粛、各局のロゴも白黒で色を抑えた白黒放送のような画面で放送され、前国王の回顧映像と法要中継がほとんどの時間帯に流れていました。

前国王の100か日法要後は、キャスターの喪服姿以外は通常の放送に戻っています。

今年の10月には前国王の葬儀が予定されており、王宮前広場に360㎡、高さ50mの建物が立てられます。昨年12月に即位されたワチラロンコン国王の戴冠式は、前国王の葬儀後に行われます。

2017年は日本タイ修好130周年の年に当たり、日本国内やタイ国内で様々なイベントが企画されています。これらのイベントを通じ、今後も日本とタイの良好な関係が続くことが期待されています。

## 【岡山県タイビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク (株式会社アークビジネスサーチ内) >>

【所在地】: 東京都千代田区神田小川町1-11-8 大竹ビル7階

【担当者】: 志賀 敦 (しが あつし)

<<タイ/バンコク現地デスク (ARK ENTERPRISE CO., LTD. 内) >>

【所在地】: 138 Boonmitr Bldg., 3rd Floor, Rm. A2, Silom Rd., Suriyawong, Bangrak Bangkok, 10500 Thailand

【担当者】: 福田 淳 (ふくだ じゅん)

※「岡山県タイビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のタイでの事業展開を支援しています(岡山県からの委託業務)。ご利用にあたっては、[「岡山県タイビジネスサポートデスク」利用の手引き](#)をご覧ください。岡山県産業企画課マーケティング推進室(086-226-7365)までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のタイでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応していません。